

高温により早生品種の成熟期が早まっています 籾の黄化状況を早めに確認しましょう！

1 籾黄化状況の確認

下表を参考に、登熟積算気温による収穫適期日よりも早い時点で、必ず籾の黄化状況を確認し、黄化率 85～90%で収穫しましょう。

収穫適期のめやす（8月23日現在 登熟積算気温）

品 種	出穂期※ ¹	収穫適期の 出穂後積算気温	収穫適期※ ²
新潟次郎(飼料用)	7月19日	1,000℃	8月27日
五百万石 (新潟・五泉)	7月20日	975℃	8月27日
	(阿賀)		7月24日
わたぼうし	7月23日		8月30日
ゆきん子舞	7月25日		9月1日
こしいぶき	7月26～27日		9月2日

※1 5月5日植えを想定した出穂期。

※2 新津アメダスを活用した登熟積算気温(五百万石(阿賀)のみ津川アメダスを活用)によるめやす。

2 今後の気温（1か月予報：新潟地方气象台8月20日発表）

期間の前半は、かなり気温が高くなる可能性があります

気温が高い確率

1週目(8/22～28)：70% 2週目(8/29～9/4)：70% 3～4週目(9/5～18)：50%

3 収穫時の籾水分が低い場合の胴割れ防止対策

- ・成熟期頃の籾水分の低い状態でフェーン、高温に遭遇すると立毛胴割れが多発する危険があるので、刈り遅れないよう特に注意しましょう。
- ・籾水分が低い場合、日中の加温乾燥は避け、常温で通風乾燥を行きましょう。 点火は夜間に気温が下がってから行い、送風温度を低めに設定しましょう。
- ・乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能が備わっている場合は活用しましょう。

4 中生・晩生品種の水管理

- ・出穂期25日後（可能な場合は30日後）まで、飽水管理を徹底しましょう。

- ・ 出穂期が遅い場合は、最終通水日に湛水して、飽水管理期間を確保しましょう。

メルマガ登録募集中！〈申込先〉 ngt112130@pref.niigata.lg.jp

件名に「作物技術情報メルマガ登録希望」、本文に「名前」「住所」「電話番号」をご記入ください。

